

仕様書

1. 件名

桑名市畜犬登録管理システム再構築及び運用保守業務委託

2. 新システムの目的

犬の登録や鑑札の交付、狂犬病予防注射の管理、注射済票の交付は、「狂犬病予防法」や「狂犬病予防法施行規則」などの法律に基づき、市町村長が管理をしなければならない。桑名市においては、現行畜犬登録管理システムを用いて、犬の登録処理業務や狂犬病予防注射に関する業務を管理している。

本業務は、現行システムが有する資産（データ等）を引き継ぐとともに、老朽化した機器を更新することにより保守性の向上、業務システムの機能強化を図ることにより、業務の効率化を図るとともに、令和4年6月に改正施行された動物愛護管理法に基づく「狂犬病予防法の特例制度」の登録情報の取り込みに対応するため、新しいシステムを導入するもの。

3. 履行場所

桑名市市民環境部環境対策課内

4. 履行期間

1) 再構築業務（テスト・移行・導入工程を含む）の契約期間

契約締結日から令和7年10月31日まで

2) 運用保守業務の契約期間

令和7年11月1日から令和12年7月31日まで（4年9か月（57か月））

5. 支払条件

業務の代金は、当該業務の履行確認後、適法な支払請求を受けた日から30日以内に支払う。なお、運用保守費用については年度単位とし、支払い方法は別途協議する。

6. 見積内容

以下の構築費用と畜犬システムの運用保守費用の総額を入札書に記載するものとする。なお、別紙として下記の作業項目別に整理した「内訳書」を添付すること。

構築費用：ハードウェア、機器保障（5か年）、パッケージソフトウェア、カスタマイズ費用、システム導入テスト作業費用、ミドルウェア・データベース等ライセンス費用、データ移行費用、研修費用等必要な費用の合計額

運用保守費用：4年9か月（57か分）の合計額

※構築費用と運用保守費用の総額で業者選定を行うものとする

7. システム基本要件

- ・現行システムで保有している登録原簿、注射履歴、変更履歴、マスタ情報等移行し、新システムを構築する。
- ・新システムは受注者が準備しスタンドアロンで動作するデータ管理兼クライアント PC 1 台を桑名市清掃センターに設置し、市が準備するパソコン 2 台から既存の庁内ネットワークを利用し畜犬データを共有する。
運用はネットワーク上での利用を想定しており、担当者に応じた権限を持たせる。
- ・スタンドアロンの端末へは市が指定する IP アドレスを設定すること。
- ・注射入力でバーコードリーダーを使用し、入力作業の軽減を可能にする。
- ・任意の項目を組み合わせた汎用一覧表を作成できること。
- ・注射通知書はハガキ・タックシールを含む、豊富な印刷パターンから選択でき、所有者と犬のどの情報を印刷するか指定できること。
- ・実行中の機能の説明を参照できるヘルプ機能があること。
- ・主要処理の実行結果を操作ログに記録し、参照できること。
- ・当市同等規模以上の市に導入実績があり安定したシステムノウハウを有すること。
- ・別紙システム仕様の機能を満たすこと。仕様内容でシステム修正が必要であれば、その金額を見積に含めること。

8. システムの保守について

- ・発注者からの問い合わせに対応する窓口を設置すること。
- ・契約期間中、円滑な運用ができるようサポート体制を確保し、操作支援を行うこと。
- ・システムに障害が生じた場合、原則、当日（時間帯によっては翌開庁日）障害の解消に当たること。復旧が難しい場合は、発注者と協議の上、対応策を提案すること。

9. 機器等詳細仕様書

1) ハードウェア関係

ノートパソコン及びバーコードリーダー・バックアップ装置とし、以下の仕様の機器とする。

ノートパソコン	(受注者準備のスタンドアロン) 1 台 想定機種：NEC VersaPro タイプ VF (PC-VKT44FBGJ7JL) (同等品可)
OS	Windows 11 64 ビット版
CPU	インテル core i5 第 12 世代以上または同等品
RAM	8 GB 以上
記憶装置	250GB 以上
光学装置	装備していないこと、又は機能しないこと (特記事項)

	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵しているものを取り外す場合はカバーを装着すること ・機能を停止する場合は、Windows OS の機能で設定すること
解像度	解像度 1,280×768 以上
無線 LAN（内蔵）	Wi-Fi6(2.4Gbps)対応(IEEE802.11ax/ac/a/b/g/n)
マウス	光学式3ボタンスクロールマウス（USB・有線）：1台 更新するパソコンメーカーの純正品
セキュリティワイヤ	1本
メーカー保守	5年間引き取り修理又は5年間オンサイト修理*マウスも含む ※パソコンは5年間の保証は必須 保守期間：令和7年11月1日～令和12年10月31日
バーコードリーダー	2台 USB接続、CODE39対応
バックアップ装置	2本（USBメモリまたは外付けHDD） 2世代以上の管理が可能な十分な容量（128GB以上）を要した外付け記憶媒体。

- ・ LGWAN 環境で動作させる関係上、初期構築の際は管理者権限で作業を行うが、ドメインユーザー権限（制限ユーザー）で動作確認及び運用を行う（運用フェーズ以降に管理者権限が必要になる場合は市から一時的な管理者権限を発行する）

2) ソフトウェア関係

ソフトウェア	3ライセンス
Office	あり：受注者準備のスタンドアロン1台分 (Office LTSC Standard 2024 でインストールも可)
PDF 編集ソフト	他市への原簿送付等で使用するため、買い切り版の DocuWorks 9.1 を受注者準備のスタンドアロン1台分にインストールおよびライセンス認証等必要な作業も行うこと ※最新版をインストールすること。
ウイルスソフト	受注者準備のスタンドアロン1台分に市が管理するウイルス対策ソフト及びデバイス制御ソフトをインストールすること
プリンタドライバ	KONICA MINOLTA bizhub C450i, C250i ※ドライバ及び手順書は桑名市から提供

フリーソフト	Adobe Acrobat Reader DC、7-zip、一太郎ビューア、Mini Hardcopy Utility：受注者準備のスタンドアロン 1 台分 ※上記以外に必要なソフトウェアが発生した場合でも桑名市が指示するソフトウェアをインストールすること。 ※最新版をインストールすること。
--------	--

- ・マニュアルの作成 使用方法マニュアルを作成し紙媒体 1 部、CD-R 等（電子データ） 1 枚を納入すること。

3) 市準備物関係

市はノートパソコン及びレーザープリンターとして、以下の仕様の機器を準備する。

ノートパソコン	2 台 ※LGWAN 接続系
OS	Windows 10 64 ビット版
CPU	1.6GHz
RAM	4 GB
記憶装置	235GB
光学装置	なし
解像度	解像度 1,366×768
レーザープリンター	※既存の複合機で印刷ができること 無線 LAN 接続、A4/B4/A3 モノクロ印刷対応

10. データ移行作業等

1) 今回の移行作業

- ・受注者は、データ移行にあたっては、発注者と受注者及び現行システム設置業者と協議のうえ、日程を調整し、発注者の指示により移行を行うこと。
- ・現行システムからのシステム移行（環境切替やデータ移行）に関する移行計画書を作成すること。移行計画書において、総合テスト結果等に基づく移行判定ポイントを設けること。
- ・データ移行については、現行システム事業者との各種調整事項について積極的に関与し、漏れや不備のないようにすること。
- ・データ移行に関する作業負担の軽減について、工夫、配慮すること。

2) 契約満了後の移行作業

- ・システム更新時に他社システムになった場合でも、次に掲げる要件等に従って、発注者及び次期システム導入業者と協力して、円滑にデータ移行ができる環境を構築すること。
- ア 受託期間の満了時において、次期システムに移行する場合は、必要となる全

データ（テーブルからの CSV ファイル、文書類の添付ファイル）の抽出を行うこと。

イ 抽出データは、全て汎用的に利用できる形式（CSV ファイル、テキスト等）で出力すること。

ウ 抽出データの内容が分かる説明資料を作成すること。

エ 抽出データに関する問い合わせ及び打ち合わせに対応すること。

- ・今回納入する端末等は、契約満了後に受注者が引き取ってハードディスクの消去を行い、消去証明書を提出すること。また、消去ツールは桑名市所有のツールを提供することも可能。（消去方法等の詳細は別途桑名市と調整すること。）

別紙 システムの仕様

1. 基本機能

1. 1 機能一覧

・年度を指定することで対象年度を切替でき、下記の処理を行えること。

	処理名	説明
台帳処理	原簿新規登録	原簿の新規登録、転入登録、修正、削除、不明犬の登録
	登録原簿変更 ・抹消入力	登録事項の変更入力、死亡・転出・引取・他の理由の抹消入力、鑑札・注射済票の再交付、動物保護管理の届出入力、マイクロチップ（MC）の届出入力
	原簿検索	原簿の検索、一覧印刷、タックシール（A4）印刷、個別原簿印刷、汎用一覧表印刷
	登録原簿状況 問合わせ	登録頭数、登録申請数、注射頭数、各届出件数の問合わせ、月報印刷
	抹消一覧表	登録を抹消した犬の一覧表
	転入一覧表	転入登録した犬の一覧表
	所有者住所不明 犬一覧表	所有者住所が不明の犬（郵送物返送・転居先不明など）の一覧表
注射処理	注射会場入力	注射会場の登録、修正、削除、一覧印刷
	注射済票入力	注射の入力・取消、原簿の修正、注射猶予入力
	注射通知印刷	注射通知ハガキ、タックシール（A4）、注射通知一覧表の印刷
	未実施一覧表	注射未実施の犬の一覧表、督促通知書の印刷
	実施猶予一覧表	注射猶予情報がある犬の一覧表 現在：本日現在猶予中の犬 当年度：猶予情報を持つすべての犬
	実施記録等 一覧表	新規登録、注射入力した犬の一覧表 集合：実施日・会場ごと 個別：受付日・獣医師ごと
	受払簿	鑑札・注射済票の受入・払出記録の一覧表
預託処理	預託入力	獣医師別に鑑札・注射済票の預託情報を入力
	預託一覧表	預託した鑑札・注射済票の一覧表
	獣医師別受払 一覧表	獣医師別の鑑札・注射済票の受入・払出記録の一覧表

	処理名	説明
基本情報	市町村マスタ 保守	市町村マスタのメンテナンス
	町名マスタ保守	町名マスタのメンテナンス
	区割マスタ保守	区割マスタのメンテナンス
	犬種マスタ保守	犬種マスタのメンテナンス
	毛色マスタ保守	毛色マスタのメンテナンス
	獣医師マスタ 保守	獣医師マスタのメンテナンス
	保健所マスタ 保守	管轄保健所マスタのメンテナンス
	抹消理由マスタ 保守	職権消除などの抹消理由のメンテナンス
	コントロール マスタ保守	各種基本項目の設定、預り書の書式設定、 元号マスタのメンテナンス、システム詳細設定
	住所コード表	町名の一覧表印刷
	犬種一覧表	犬種の一覧表印刷
	毛色一覧表	毛色の一覧表印刷
	獣医師一覧表	獣医師の一覧表印刷
運用管理	データベース	データファイルの退避（バックアップ）と復帰 （リストア）
	汎用データ取込 (オプション)	犬の電子申請データの取込処理

1. 2 共通機能

システム全般で下記の機能を有すること。

(1) ヘルプ

各機能で F1 キー等を押すと、別ウィンドウで機能の説明を表示すること。
操作説明書と同じ内容を表示すること。

(2) 操作ログ

主要機能で表示・編集・印刷・出力・更新を実行すると、テキスト形式のログ
ファイルに記録すること。ログファイルは日付別で、日時・利用者・機能・処
理・対象を記録すること。

2. 処理詳細

2. 1 基本情報設定

2. 1. 1 マスタ登録

システムは下記の（１）から（１０）のマスタを設定できること。

（１）市町村マスタ

システムを運用する市町村名の登録を行う。

- ① 広域での運用も考慮し、複数の市町村が登録できること。
- ② 区割マスタで設定可能な区割の名称を任意に設定できること。

（２）町名マスタ

町名の登録を行う。

町名と郵便番号を関連付けて登録できること。

（３）区割マスタ

各機能において任意の地域区分（学校区・旧町村など）で抽出するための区割を登録する。

（４）犬種マスタ

犬の種類の登録を行う。

- ① 標準で110種類以上登録され、最大999種類登録できること。
- ② 犬種と体格を関連付けて新規登録できること。
- ③ 表示順の番号を設定でき、番号は重複可能であること。

（５）毛色マスタ

犬の毛色の登録を行う。

- ① 標準で40色以上登録され、最大999色登録できること。
- ② 表示順の番号を設定でき、番号は重複可能であること。

（６）獣医師マスタ

獣医師の登録を行う。最大999件登録できること。

氏名だけでなく郵便番号、住所、電話番号の登録を行えること。

（７）保健所マスタ

管轄保健所の登録を行う。1件登録できること。

（８）抹消理由マスタ

抹消理由の登録を行う。最大999件登録できること。

死亡・転出・引取以外の抹消理由（職権など）を登録できること。

（９）コントロールマスタ

システムを運用する上での基本情報の設定を行う。

- ① 注射済票の団体名、連続採番時の鑑札番号や注射済票番号の桁数を設定できること。
- ② 抹消入力時に個別原簿を自動印刷するかどうかを選択できること。
- ③ 任意の二択項目（その他項目）を原簿の登録項目に追加できること。
- ④ 任意のマスタ項目を3つまで原簿の登録項目に追加できること。
- ⑤ 預託獣医師に発行する鑑札・注射済票の預り書の文言を設定できること。

- ⑥ 注射頭数の集計対象を実施頭数（今年4月1日～翌年3月31日）が
交付年度（今年3月2日～翌年3月1日）で切り替えられること。
- ⑦ 番号の桁揃え処理、データの保存年数、宛先住所の改行方法、カスタマ
バーコードの位置調整などシステム動作の詳細設定も行えること。

(10) 元号管理マスタ

日付入力時に自動表示する和暦の元号と開始年月日を登録できること。

2. 1. 2 マスタ印刷

システムは下記のマスタを一覧印刷できること。

(1) 住所コード表印刷

町名マスタの一覧表を印刷できること。

(2) 犬種一覧表印刷

犬種の一覧表を印刷できること。

(3) 毛色一覧表印刷

毛色の一覧表を印刷できること。

(4) 獣医師一覧表印刷

獣医師の一覧表を印刷できること。

2. 1. 3 更新処理

システムは最大5年度分のデータを管理し、年度ごとに集計等が行えること。

(1) 次年度のデータ作成

新年度データベースの作成を行い、以後は既定の参照先にすること。

- ① 年度更新後、新年度の注射情報は未入力の状態にすること。
- ② 期限の切れた注射猶予情報をクリアすること。
- ③ 抹消日から5年度以上が経過した古い抹消原簿は消去すること。
- ④ その他項目を使用し、年度更新時に初期化する設定の場合、全件いいえ
に更新すること。

2. 2 システム運用管理

システムは下記の運用管理が行えること。

(1) データベース

年度ごとにデータファイルの退避（バックアップ）、復帰（リストア）、削除がで
きること。保存先は任意のパスを指定でき、USBメモリ・外付けハードディス
ク・ファイルサーバ等が使用できること。

(2) 汎用データ取込 [オプション]

犬の電子申請データの取込処理が行えること。処理の確定前にチェック表を
印刷でき、確定時に処理結果をテキストファイルに出力できること。

- ① 電子申請「ぴったりサービス」に対応していること。
- ② 電子申請「ワンストップサービス」に対応していること。
- ③ 取込書式の設定機能を設け、データの書式変更時に対応できること。

- ④ コード番号が異なるマスタ・区分項目に対応するため、E x c e l形式の変換表データの取込に対応していること。

3. 台帳処理

3. 1 原簿新規登録

原簿登録において新規登録と転入登録が行えること。又、以下の条件を満たすこと。

- ① 登録原簿の内容を全て満たす入力項目を持つこと。

項 目	説 明
整理番号	システム上の固有識別番号を自動採番
マイクロチップ	マイクロチップ番号を入力
登録番号	鑑札番号を入力、連続登録時は自動採番
MC みなし鑑札	マイクロチップを鑑札とみなすか選択 該 当：鑑札とみなし、登録番号を省略可 非該当：鑑札とみなさず、登録番号も入力必須
登録日付	登録日付を入力
注射番号	注射済票番号を入力、連続登録時は自動採番
注射年度	注射の実施日から自動判定
団体名	団体名を入力、コントロールマスタの登録内容を自動表示
番号	注射済票番号を入力
猶予	猶予証明がある場合に登録
生涯猶予	猶予期限なしの場合に指定
猶予期間	猶予期間の開始日と終了日を入力
理由	猶予の理由・病名等を入力
獣医師名	猶予証明を発行した獣医師を一覧より選択または入力
実施日	注射の実施日を入力
受付区分	受付区分を選択（集合、個別） 集合：集合注射会場で注射（「転入」時は集合が選択される） 個別：開業の動物病院で注射
交付状況	交付状況を選択（管内、預託交付、済証持参、管外） 管 内 ：集合注射会場で注射した場合 預託交付：預託獣医師が注射をした場合 済証持参：預託外の獣医師に注射をしてもらった場合 管外(転出元接種)：転入前に転出元で注射をしていた場合
会場	注射会場を一覧より選択または入力
獣医師名	獣医師名を一覧より選択または入力（預託交付は選択のみ）
受付日	注射の受付日を入力（個別注射の場合に入力）
所有者	
氏名	氏名を入力
氏名カナ	自動フリガナ表示

項 目	説 明
電話番号	電話番号を入力
左側	自宅電話番号などを入力
右側	携帯電話番号などを入力
メールアドレス	メールアドレスを入力
犬の所在地	
郵便番号	市町村名、町名を入力すると自動表示
市町村名	市町村名を自動表示（広域運用は一覧より選択）
町名	町名コードを入力するか一覧より選択
番地	
上段	番地・号等を入力
下段	建物名・号室等を入力
開示注意設定	サブ画面、開示注意の情報入力、情報ありはボタン色を変更
設定日付	開示注意の設定日を入力
理由等	開示注意の理由等を入力
所有者住所	サブ画面、既定で犬の所在地と同じ内容を登録、 マスタ未登録の市町村、町名等も入力可
郵便番号	郵便番号を入力
市町村名	市町村名を入力
町名	町名を入力
番地	
上段	番地・号等を入力
下段	建物名・号室等を入力
※区割	区割コードを入力するか一覧より選択 ※ 市町村マスタ保守で項目名を設定した場合のみ使用可
犬	
種類	種類コードを入力するか一覧より選択
毛色	毛色コードを入力するか一覧より選択
性別	性別を雄・雌・不明から選択
去勢・避妊	去勢・避妊済かどうかを選択
名前	犬の名前を入力
名前カナ	犬の名前のフリガナを入力、自動表示に対応
体格	空または大・中・小で入力、種類と連動で自動表示
年齢	年齢の入力、または生年月日から自動計算
生年月日	生年月日の入力、または年齢から生年の4月1日を自動表示
補助犬	盲導犬、介助犬、聴導犬、他の補助犬、該当なしかを選択
特徴	特徴を入力

項目	説明
※その他項目	その他項目の「はい」「いいえ」を選択 ※ コントロールマスタ保守で項目名を設定すると使用可
※その他 1～3	その他1～3のコードを入力するか一覧より選択 ※ コントロールマスタ保守で「使用する」設定時に使用可
注射履歴	サブ画面、昨年度以前の注射履歴を編集
年度	注射年度を入力
団体名	団体名を入力
番号	注射済票番号を入力
実施日	注射実施日を入力
不明	サブ画面
理由等	所有者住所不明犬となった理由を入力
確定日付	不明確定日を入力
他記載事項	その他の記載事項を入力
備考	サブ画面
備考1	備考を入力、帳票に印刷されない画面確認用項目
備考2	
郵送先	既定は犬の所在地で、所有者住所に切替可能
変更履歴	サブ画面、抹消以外の変更履歴を編集
変更区分	変更区分（住所・氏名変更、鑑札再交付など）を選択
変更日付	変更日付を入力
変更履歴	変更内容の説明文を入力
その他履歴	サブ画面、動物保護管理等のその他履歴を編集
届出区分	届出区分（脱出届・咬傷届など）を選択
届出日付	届出日付を入力
届出履歴	届出内容の説明文を入力

- ② 先述した各マスタを使用し、入力担当者の負担を削減すること。
- ③ 機種依存文字の入力に対応し、難読漢字や特殊記号も入力できること。
- ④ 日付項目は和暦元号を自動表示し、年月日の数字部分のみで入力できること。
ファンクションキーによる西暦・和暦入力の切替、カレンダー参照入力、本日
日付の入力が行えること。
猶予期間等を除き、未来日の入力時は続行して良いか確認すること。
- ⑤ 登録番号は最長12桁で重複入力が可能とすること。
- ⑥ 氏名・ふりがな・電話番号が一致する既存の原簿がある場合は一覧表示し、重
複登録なのか確認、多頭飼育者であれば引用入力できること。
- ⑦ 既存の原簿と同じ氏名カナ・犬の名前の組み合わせを入力した場合は二重登録
の可能性があるため、続行して良いか確認すること。
- ⑧ 犬の所在地のみ修正した場合、所有者住所も同じ内容に合わせるか確認し、同
意すれば同じ内容に更新できること。

- ⑨ 注射猶予情報の登録・修正が行えること。
- ⑩ 過去の注射履歴の登録・修正が行えること。
- ⑪ 所有者住所不明犬の登録・修正が行えること。
- ⑫ 備考の登録・修正が行えること。
- ⑬ 郵送先住所を犬の所在地・所有者住所のどちらにするか選択できること。
- ⑭ 変更履歴の登録・修正が行えること。
- ⑮ その他履歴の登録・修正が行えること。

(1) 新規登録

原簿の新規登録を行う。

- ① 正式な登録番号がなくても未登録犬として原簿が登録できること。
- ② マイクロチップを鑑札とみなし、登録番号を省略して登録できること。

(2) 修正処理

原簿情報の修正を行う。

- ① 修正する原簿を呼び出す際に様々な条件から検索ができること。
- ② 氏名・ふりがな・電話番号が一致する既存の原簿がある場合は一覧表示し、重複登録なのか確認、多頭飼育者であれば引用入力できること。
- ③ 犬の所在地のみ修正した場合、所有者住所も同じ内容に合わせるか確認し、同意すれば同じ内容に更新できること。

(3) 削除処理

原簿の削除（データ消去）を行う。

(4) 転入登録

他市町村から犬が移動してきた場合の登録を行う。

- ① 転出元市町村名や転出元での旧登録番号を登録できること。
- ② 転入年度の注射場所が転出元か現住所かを選択できること。

3. 2 登録原簿変更・抹消入力

原簿情報の変更においては下記の(1)から(7)の機能を持つこと。

その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 変更および抹消する原簿を呼び出す際に様々な条件から検索ができること。
- ② 変更された事項は登録原簿の変更履歴・その他履歴に登録されること。
- ③ 履歴の説明文は日付・区分より自動作成し、編集可能とすること。

(1) 登録の変更

原簿登録事項の変更を行う。

- ① 登録の変更内容を選択形式とし、入力の負担を軽くすること。
- ② 犬の所在地と所有者住所が異なる場合は確定時に確認メッセージを表示し、同意すれば所有者住所を犬の所在地に合わせられること。

(2) 登録の抹消

死亡・転出・他の理由による原簿の抹消を行う。

- ① 原簿データを消去せず、抹消原簿に変えて残すこと。

- ② 原簿の抹消理由を選択形式とし、入力負担を軽くすること。
 - ③ 転出による原簿抹消の場合は転入先市町村の情報を登録できること。
 - ④ 死亡・転出以外の抹消は抹消理由マスタから理由を選択できること。
- (3) 鑑札再交付
鑑札の再交付の登録を行う。
- ① 鑑札の再交付理由を選択形式とし、入力負担を軽くすること。
 - ② 新旧それぞれの鑑札番号が把握できること。
- (4) 注射済票再交付
注射済票の再交付の登録を行う。
- ① 注射済票の再交付理由を選択形式とし、入力負担を軽くすること。
 - ② 新旧それぞれの注射済票番号が把握できること。
- (5) MC みなし鑑札
マイクロチップ情報の登録・変更・除去の届出登録を行う。
以下を区別し、回収・除去した旧番号を履歴に残すか選択できること。
- ① 鑑札からマイクロチップ（みなし鑑札）への変更
 - ② マイクロチップ（みなし鑑札）から鑑札への変更
 - ③ マイクロチップ番号の変更
- (6) 引取（所有権放棄）
所有権が放棄された犬の抹消処理を行う。
- (7) 動物保護管理
その他履歴の届出登録を行う。
脱出届、抑留犬返還願、咬傷届、その他を把握できること。
- ### 3. 3 原簿検索
- 検索条件を指定し、原簿の検索を行う。その際以下の条件を満たすこと。
- ① 原簿を呼び出す際に様々な条件から検索ができること。
 - ② 検索条件に該当する原簿の件数が把握できること。
 - ③ 検索条件に該当する原簿が複数ある場合、その一覧表示順を選択できること。
町名番号順、町名カナ・氏名カナ順、登録番号順から選択できること。
 - ④ 検索結果の一覧から個別に原簿の内容を詳細表示、原簿印刷できること。
詳細表示中は一覧と同じ並順で原簿を切替表示できること。
開示注意の情報がある場合は事由等を表示して枠の色を変え目立たせること。
 - ⑤ 検索結果の一覧表を、任意の帳票タイトルをつけて印刷できること。
 - ⑥ 検索結果の一覧からタックシール（A4）が印刷できること。
 - ⑦ 検索結果の一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
 - ⑧ 任意の項目を組み合わせた汎用一覧表を登録し、検索結果を一覧印刷できること。
登録番号・氏名などの個別項目のほか、枠内に氏名・氏名カナ・電話番号等をまとめたブロック項目も用意し、柔軟に設計できること。
用紙サイズ・印刷サイズ（A4・B4・A3）、縦・横、余白を設定できること。

印刷時の帳票タイトルはその都度変更できること。

⑨ 検索条件項目は下記の通りとすること。

番号項目は完全一致、文字項目は前方一致で判定するが、文字項目の先頭に%を付加して部分一致でも判定できること。

項 目	説 明
整理番号	原簿登録時に自動採番される番号を入力
犬の所在地	
市町村名	市町村名を自動表示（広域運用は一覧より選択）
町名	町名コードを入力するか一覧より選択
地番	番地以降の数字部分を入力、最大4区分 例 1丁目2番3号405号室 → 1・2・3・405で判定
番地内容	番地以降の内容を入力、先頭に%の付加で部分一致判定
※区割	区割コードを入力するか一覧より選択、「未入力」も選択可能 ※ 市町村マスタ保守で項目名を設定した場合のみ使用可
マイクロチップ	マイクロチップ番号を入力、入力済・未入力・全てから選択可
登録番号	登録番号を単独または範囲で入力
注射番号	団体名、注射済票番号、注射年度を入力 注射年度の省略時は当年度で判定
電話番号	電話番号を入力、記号を除外して判定
所有者名	所有者の氏名を入力、スペースを除外して判定
氏名カナ	所有者の氏名カナを入力、スペースを除外して判定
変更履歴	変更履歴およびその他履歴の区分をチェック 設定年度内の履歴を持つ原簿をOR条件で判定
種類	犬種コードを入力するか一覧より選択、OR条件で2種類指定可能
毛色	毛色コードを入力するか一覧より選択、OR条件で2色指定可能
犬の名前	犬の名前またはフリガナを入力、スペースを除外して判定 指定名のみ（完全一致）で判定するか、漢字・カナの一方または両方で判定するか選択
性別	犬の性別を雄・雌・不明・全てから選択
去勢・避妊	去勢・避妊をはい・いいえ・全てから選択
体格	犬の体格を大・中・小・全てから選択
年齢	犬の年齢を数字で入力 「以上の年齢～」をチェックするとその年齢以上の犬を抽出
生年月日	犬の生年月日を単独または範囲で指定
補助犬	盲導犬・介助犬・聴導犬・その他・全てから選択
登録月	登録月を範囲で入力、当年度の登録日で新規または転入・国外で登録した犬が対象

項目	説明
接種状況	接種状況を未接種・接種済・済証持参・全てより選択 「未接種」選択時は未接種年数「～年以上」を数字で入力 「接種済」選択時は注射実施月を範囲で入力
登録状態	登録状態を登録・未登録から選択 登録は鑑札かマイクロチップのみなし鑑札か両方かを選択
抹消データ	抹消原簿を含めるか、無し・有りから選択
旧鑑札	チェックすると登録番号と抹消の有無のみ指定可能になる 転出元または鑑札再交付前の旧登録番号で判定
多頭飼育	チェックすると整理番号、犬の所在地、区割のみ指定可能 住所項目の連結内容＋氏名が同じ多頭飼育者のみ抽出、 実行時の件数は飼育者数を表示
※その他 項目	その他項目を○・×・全てから選択 ※ コントロールマスタ保守で項目名を設定すると使用可
※その他 1～3	その他1～3コードを入力するか一覧より選択 ※ コントロールマスタ保守で「使用する」設定時に使用可

3. 4 登録原簿状況問合わせ

問合わせを行う項目を指定して件数を集計し一覧表示と印刷を行う。

問合わせ項目は下記の通りとすること。

項目	説明
月の指定	問合わせを行いたい月の範囲を入力、省略時は4月～3月で判定
問合わせ内容	問合わせを行いたい項目の選択
登録頭数	指定月間末現在において登録されている頭数
鑑札登録	登録頭数のうち、鑑札で登録した犬の頭数
みなし鑑札	登録頭数のうち、マイクロチップのみなし鑑札で登録した犬の頭数
不明老犬	登録頭数のうち、指定月間末現在で20歳以上の不明犬
登録申請数	指定月間内に新規または転入・国外で登録した犬の頭数
補助犬	登録申請数のうち、補助犬の頭数
注射頭数	指定月間内に注射をした犬の頭数（管外を除く）
集合	注射頭数のうち、受付区分が集合の犬の頭数
個別	注射頭数のうち、受付区分が個別の犬の頭数
済証持参	注射頭数のうち、受付区分が個別、交付状況が済証持参の犬の頭数
補助犬	注射頭数のうち、補助犬の頭数
死亡届出件数	指定月間内に届出された犬の死亡届出件数
変更届出件数	指定月間内に届出された住所・氏名関連の変更届出件数

項 目	説 明
鑑札再交付件数	指定月間内に申請された鑑札の再交付件数
注射済票再交付件数	指定月間内に申請された済票の再交付件数
転出頭数	指定月間内に転出した犬の頭数
転入頭数	指定月間内に転入・国内で登録した犬の頭数
引取頭数	指定月間内に引取（所有権放棄）した犬の頭数
所有者住所不明件数	指定月間末現在において所有者住所が不明の件数
未実施頭数	指定月間末現在において注射を実施していない犬の頭数
猶予頭数	指定月間内の開始日で注射を猶予した犬の頭数
抹消件数	指定月間内に届出された犬の抹消届出件数 （死亡・転出・引取以外の抹消件数）
MC(みなし鑑札)変更届出件数	指定月間内に届出されたマイクロチップみなし鑑札の届出件数（鑑札からマイクロチップ、マイクロチップから鑑札、MC 番号変更）

また、以下の機能を満たすこと。

- ① 問合わせた項目の一覧表を一括印刷できること。
- ② 市町村別、区割別でも件数の集計ができること。
- ③ 問合わせた項目は CSV データファイルとして出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
- ④ 設定により注射頭数の集計方法を「実施頭数」（当年 4/1～翌年 3/31）と「交付年度」（当年 3/2～翌年 3/1）から選択できること。
- ⑤ 主要項目を月別に集計した月報を印刷できること。

3. 5 抹消一覧表

抹消年度および抹消区分を指定し、抹消一覧表の作成を行う。又、以下の条件を満たすこと。

- ① 抹消年度・抹消区分・届出年月日の範囲・所有者名で絞込表示できること。
- ② 表示した一覧表を印刷できること。
- ③ 表示した一覧からタックシール（A4）を印刷できること。
- ④ 抹消した登録原簿を印刷できること。
- ⑤ 表示した一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
- ⑥ 抹消した原簿を通常原簿としてボタン一つで復活処理できること。

3. 6 転入一覧表

転入月間を指定し、転入一覧表の作成を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 集計する期間（月間）を指定できること。
- ② 表示した一覧表を印刷できること。
- ③ 表示した一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。

3. 7 所有者住所不明犬一覧表

不明の年度および抽出条件を指定し、所有者住所不明犬一覧表の作成を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 抽出年度・抽出対象（年齢区分）・理由で絞込表示できること。
- ② 抽出条件に該当する件数を確認できること。
- ③ 表示した一覧表を印刷できること。
- ④ 表示した一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。

4. 注射処理

4. 1 注射会場入力

集合注射会場の登録を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 会場名だけでなく実施日付、開始時間及び終了時間の登録ができること。
- ② 実施日付は注射入力での会場選択時に既定値として表示できること。
- ③ 登録した会場を一覧印刷できること。

4. 2 注射済票入力

当年度の狂犬病予防注射の注射情報の入力・取消を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① バーコードリーダーを使用して通知書の情報をすぐ呼び出せること。
- ② 対象原簿は整理番号または登録番号の入力ですぐ呼び出せること。
- ③ 注射番号の自動連番、前回入力時の会場・獣医師名の自動表示等の機能を持ち、注射情報の連続入力が容易に行えること。
- ④ 集合注射時に多く発生する原簿の修正や注射猶予の届出を、メインメニューまで戻らずに本機能で行えること。
- ⑤ 犬の所在地のみ修正した場合、所有者住所も同じ内容に合わせるか確認し、同意すれば同じ内容に更新できること。
- ⑥ 一覧画面で注射済かどうかを確認できること。
- ⑦ 当機能にて注射の取消・再入力が行えること。

4. 3 注射通知書印刷

狂犬病予防注射通知書の印刷を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 通知書は用途に合わせた以下の書式を選択できること。

項目	説明
様式	
別納	通知書の左上に別納マークを印字
切手	通知書の左上が空白（切手貼り付け）
封書	窓空き封筒用、宛先を中央に印字
サイズ	
ハガキ	A4 縦、印刷後に十字で4分割
A6	A6 縦、上の「ハガキ」の個別再印刷用
長3縦(洋4)	A4 横、印刷後に縦3列で分割
長3横(長6)	A4 縦、印刷後に横3段で分割、様式は封書のみ対応
記載事項	(サイズが長3の場合に指定可能)
なし	ハガキと同じ内容で印刷
問診	余白部分に既定の問診内容を印刷
自由書式	余白部分に任意のタイトル・本文を入力して印刷
郵送先補助	
基本	別納マークが円内中央に横線1本
特割	別納マークが円内中央に横線2本
特特	別納マークが円内上部に横線1本、中央に横線2本
カスタマ バーコード	郵便カスタマバーコードを印字
氏名カナ	氏名カナのあり・なしを選択

- ② 通知書に記載されている文言は編集できること。
- ③ 所有者および犬の情報は通知書に印字するかどうか項目ごとに選択できること。
- ④ 通知書には注射入力処理を容易にするためのバーコードを印刷できること。
- ⑤ 通知書の印刷は一括のほか、町名単位や区割単位でも行えること。
- ⑥ 入力必須項目でない区割は「未入力」分も選択できること。
- ⑦ 未登録犬や所有者住所不明犬も、条件設定で通知書を印刷できること。
- ⑧ バーコード付きのタックシール（A4）を印刷できること。
- ⑨ 指定した町名または区割に該当する犬の一覧表を印刷できること。
- ⑩ 指定した町名または区割に該当する犬の一覧を CSV データファイルで出力できること。出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
- ⑪ 今年度の3月2日から3月31日までに注射を実施した、翌年度注射済扱いとなる犬に対しては、通知書の印刷を行わないよう除外すること。
- ⑫ 原簿新規登録の備考で指定した場所（犬の所在地または所有者住所）を宛先として印字できること。
- ⑬ 通知書の宛先を元にした郵便カスタマバーコードを印字できること。

4. 4 未実施一覧表

狂犬病予防注射を実施していない犬の一覧を作成し、督促通知書を印刷する。

その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 未接種の理由区分で抽出し、一覧表および督促通知書を印刷できること。
- ② 通知書は用途に合わせた複数の書式を持つこと。
書式のパターンは注射通知印刷と共通であること。
- ③ 通知書に記載されている文言は変更できること。
- ④ 所有者および犬の情報は通知書に印字するかどうかが項目ごとに選択できること。
- ⑤ 通知書には注射入力処理を容易にするためのバーコードを印字できること。
- ⑥ 通知書の印刷は一括のほか、町名単位や区割単位でも行えること。
- ⑦ バーコードつきのタックシール（A4）を印刷できること。
- ⑧ 未実施の一覧表を印刷できること。
- ⑨ 未実施の一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
- ⑩ 原簿新規登録の備考で指定した場所（犬の所在地または所有者住所）を宛先として印字できること。
- ⑪ 通知書の宛先を元にした郵便カスタマバーコードを印字できること。

4. 5 実施猶予一覧表

注射猶予登録をしている犬の一覧の作成を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 本日現在猶予中の「現在猶予」と開始前・期限切れ・注射済・不明犬・抹消済を含む「当年度猶予」を条件選択できること。
- ② 表示した一覧表の印刷ができること。
- ③ 表示した一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。

4. 6 実施記録等一覧表

当年度に新規登録・注射済票交付を行った犬の記録簿を作成する。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 記録簿を作成する際、以下の項目で抽出し、一覧表を作成できること。

項目	説明
受付区分	受付区分を選択（集合、個別） 集合：実施日・注射会場ごと 個別：受付日・獣医師ごと
市町村名	市町村名を自動表示（広域運用は一覧より選択）
実施日・受付日	受付区分が「集合」の場合は実施日の範囲を入力 受付区分が「個別」の場合は受付日の範囲を入力
注射会場・獣医師名	受付区分が「集合」の場合は注射会場を選択 受付区分が「個別」の場合は獣医師名を選択

項目	説明
登録有無	登録の有無を選択（新規、継続） 新規：設定年度内に新規登録、注射した犬 （登録日と注射日が同じ、未注射で登録） 継続：設定年度内に継続で注射した犬 （注射日が登録日より後）

- ② 抽出した一覧表の印刷ができること。
- ③ 抽出した一覧を CSV データファイルで出力できること。
出力時の文字コードはシフト JIS かユニコードを選択できること。
- ④ 前年度の3月2日から3月31日までに注射を実施した、今年度注射済扱いとなる犬についても表示・確認できること。

4. 7 受払簿

鑑札・注射済票の受入・払出枚数を確認できる管理簿の作成を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 広域運用の場合、市町村名を選択できること。
- ② 鑑札・注射済票の受入枚数を番号の範囲を含めて入力できること。
- ③ 鑑札・注射済票それぞれの残枚数を自動計算し、一覧表の印刷ができること。
- ④ 一覧表の行ごとに受入・払出の番号の内訳を確認できること。

5. 預託処理

5. 1 預託入力

獣医師への鑑札および注射済票の預託情報を登録する。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 預託する市町村名、獣医師名、預託日付、鑑札・注射済票の番号範囲と枚数を登録できること
- ② 預託情報の入力後、預託の「預り書」と控えが印刷できること。
- ③ 預り書の文言はコントロールマスタ保守にて変更可能とすること。

5. 2 預託一覧表

期間を指定し、鑑札・注射済票の預託情報の一覧表を印刷する。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 広域運用の場合、市町村名を選択できること。
- ② 期間の日付を範囲指定し、預託情報を抽出できること。

5. 3 獣医師別受払一覧表

獣医師別の鑑札および注射済票の預託情報の一覧表示と印刷を行う。その際、以下の条件を満たすこと。

- ① 広域運用の場合、市町村名を選択できること。

- ② 獣医師名を選択できること。

5. 4 共通事項

(1) 納品

- ・初期設定作業等に要する期間を考慮し、発注者と協議の上、納品日を決定する。
- ・納品の際は、発注者が指示した初期設定内容その他設定内容がわかる納品書を提出し、発注者の検査を受けること。
- ・不要な包装材は引き取り及び処分を行うこと。
- ・機器の搬入の際、安全管理について発注者と十分に協議し、事故のないように注意すること。

(2) 機密保護等

- ・受注者は、個人情報保護に関する法律、関連法令、各種ガイドライン、指針等及び桑名市契約事務規則、桑名市個人情報保護条例及び、桑名市情報セキュリティポリシーの規定を遵守すること。
- ・各種情報は各条例等に基づき、適正に管理し、取り扱うこと。
- ・受注者は、発注者から機密と指定された事項及びこの契約に関して知り得た発注者の機密を第三者に開示又は漏えいしてはならない。ただし、当該機密が次に掲げる情報に該当する場合は、この限りでない。①委託契約に違反することなく、開示の時点で既に公知となった情報②機密保持義務を負うことなく第三者から正当に入手した情報③相手方からの情報によらず、独自に開発された情報
- ・受注者は、自己の業務従事者その他関係人についての義務を遵守させるために必要な措置を講ずるものとし、当該機密情報を第三者に開示する場合は、事前に発注者の承諾を得た場合は、速やかに再提出すること。

(3) 特記事項

- ・本仕様書に記載されていない事項は、都度協議を行い、発注者の決定により対応すること。
- ・本仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、都度協議を行い、発注者の決定により対応すること。
- ・発注者において必要と認めるときは、作業を変更または中止することができるものとし、この場合、発注者及び受注者の協議により、変更のために必要な期間を別途定めるものとする。
- ・受注者は、業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得たときは、この限りでない。なお、発注者の承諾を得る場合は、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて発注者に申請しなければならない。